

# 一般演題 口述発表

口述発表Ⅰ 11:20～12:10 まどかホール

座長：護摩堂 秀之助（富山リハビリテーション医療福祉大学校）

1. 全身状態安定せず臥床期間が長期化したが、Ns との連携によりトイレでの排尿が可能となった症例

杉本 沙耶（富山ろうさい病院）

2. 両側後大脳動脈の脳梗塞により全盲と重度記憶障害を呈した症例へのアプローチ  
－混乱と孤独感を緩和させ ADL 能力改善へ向けて－

赤瀬 奈菜（厚生連高岡病院リハビリテーション部）

3. 上肢重度外傷に対して現職復帰までの長期介入を経験した一例

畠山 優乃（富山大学附属病院 リハビリテーション部）

4. 急性期から生活動作獲得に向け回復に応じた段階的な介入を行った頸髄損傷の一事例

大崎 優暉（厚生連高岡病院 リハビリテーション部）

5. 臨床経験1年目のOTが多職種連携の際に危機意識の共有を行ったことで褥瘡治癒に至った事例

吉見 有紗（医療法人社団アルペン会アルペンリハビリテーション病院）

口述発表Ⅱ 12:20～13:00 まどかホール

座長：根塚 恵（富山ろうさい病院）

6. 回復期病院で園芸療法を実施することにより病棟生活の発動性が高まった症例

藤平 美結（医療法人社団アルペン会 アルペンリハビリテーション病院）

7. 病棟での集団活動は大腿骨近位部骨折患者の抑うつ感を軽減する

川原 和之（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）

8. 脳卒中後の自動車運転再開におけるペダル改造適応者の交通事故と院内評価の関連性  
－追跡調査から見えた傾向と課題－

宮崎 翔（医療法人社団アルペン会 アルペンリハビリテーション病院）

9. 能登半島地震後における当院訪問リハビリテーションの対応と課題

宮西 洋介（金沢医科大学氷見市民病院）

# 一般演題 新人発表

新人発表 14:00～15:00 研修室2

座長：堀 友里（厚生連高岡病院）

吉原 有佐（友愛温泉病院）

1. 重度感覚障害に対して Mirror Therapy による感覚再教育が有効であった可能性がある症例  
新鞍 拳吾（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）
2. 重度の手指麻痺を呈し日常生活での使用が制限された一症例  
野村 涼子（金沢医科大学氷見市民病院）
3. 右上腕骨通頸骨折後認知機能低下により末梢神経障害を合併し、患肢管理に難渋した症例  
小高 さゆり（真生会富山病院）
4. 頸髄損傷による重度四肢麻痺から食事動作獲得に至った一症例  
中嶋 祐輔（医療法人社団紫蘭会 光ヶ丘病院）
5. 関心のある活動の継続が認知・意欲の維持に繋がった事例  
長谷川 彩香（介護老人保健施設 みしま野苑一穂）
6. 患者の生活活動に焦点を当て退院後の身体活動量の改善を目指した症例を経験して  
潟沼 由莉（南砺市民病院）

# 一般演題 ポスター発表

ポスター発表 11:20～11:50 エントランス

座長：佐賀 真也（ソフィアメディ訪問看護ステーション高岡）

1. 当院における自動車運転再開に向けた地域連携

門野 公祐（医療法人社団新和会

富山西リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

2. 「射水市地域支え合いネットワーク事業」構築のための当施設の取り組み

朽木 恵衣子（介護老人保健施設 みしま野苑一穂）

3. 世界作業療法士連盟の防災・減災への取り組み

－2024年指針とオンライン学習プログラム－

渡邊 雅行（医療法人社団重仁会 佐々木病院）